

西洋政治史

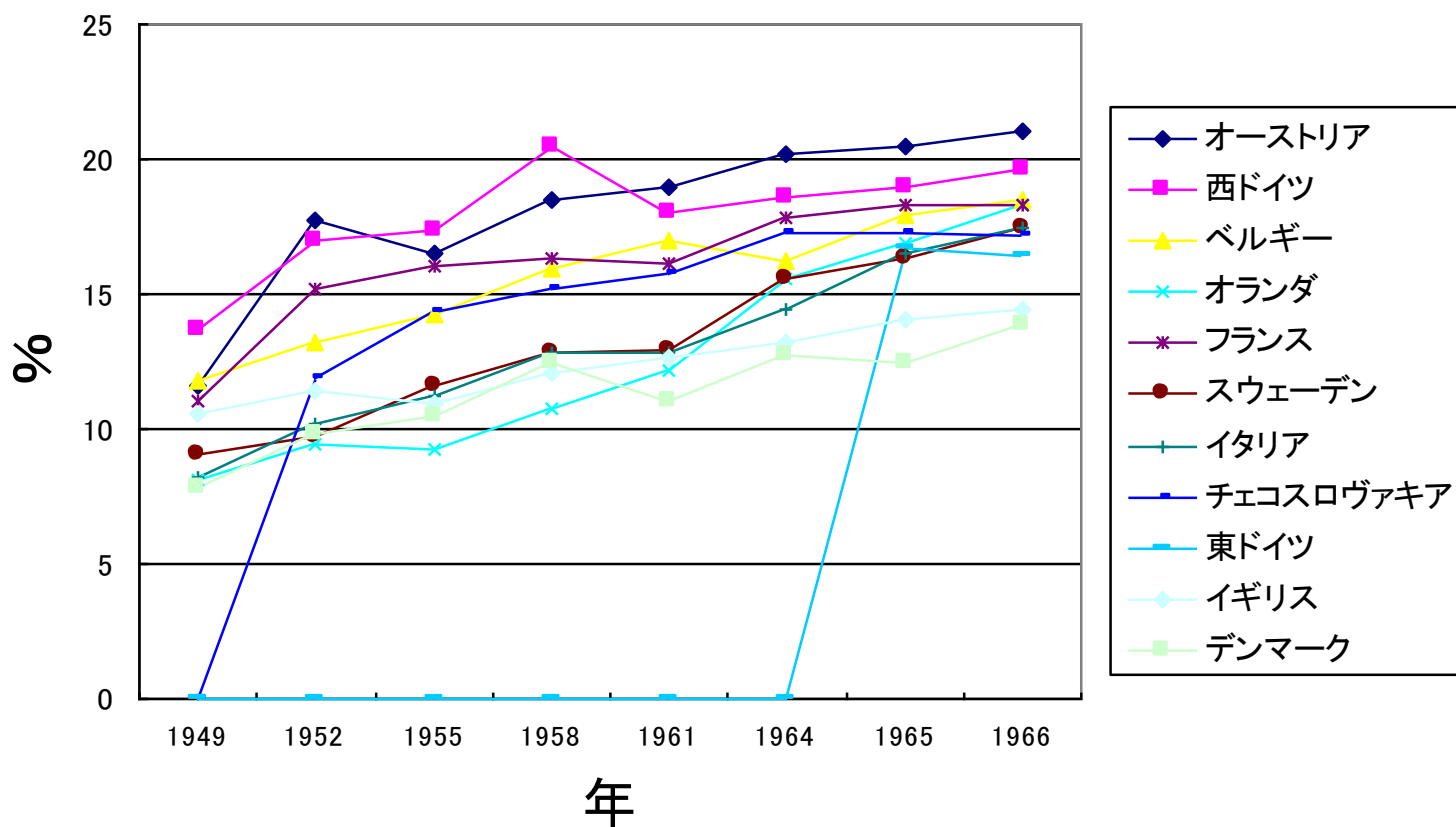
名古屋大学法学部 近藤康史

第14回

戦後和解と福祉国家の発展

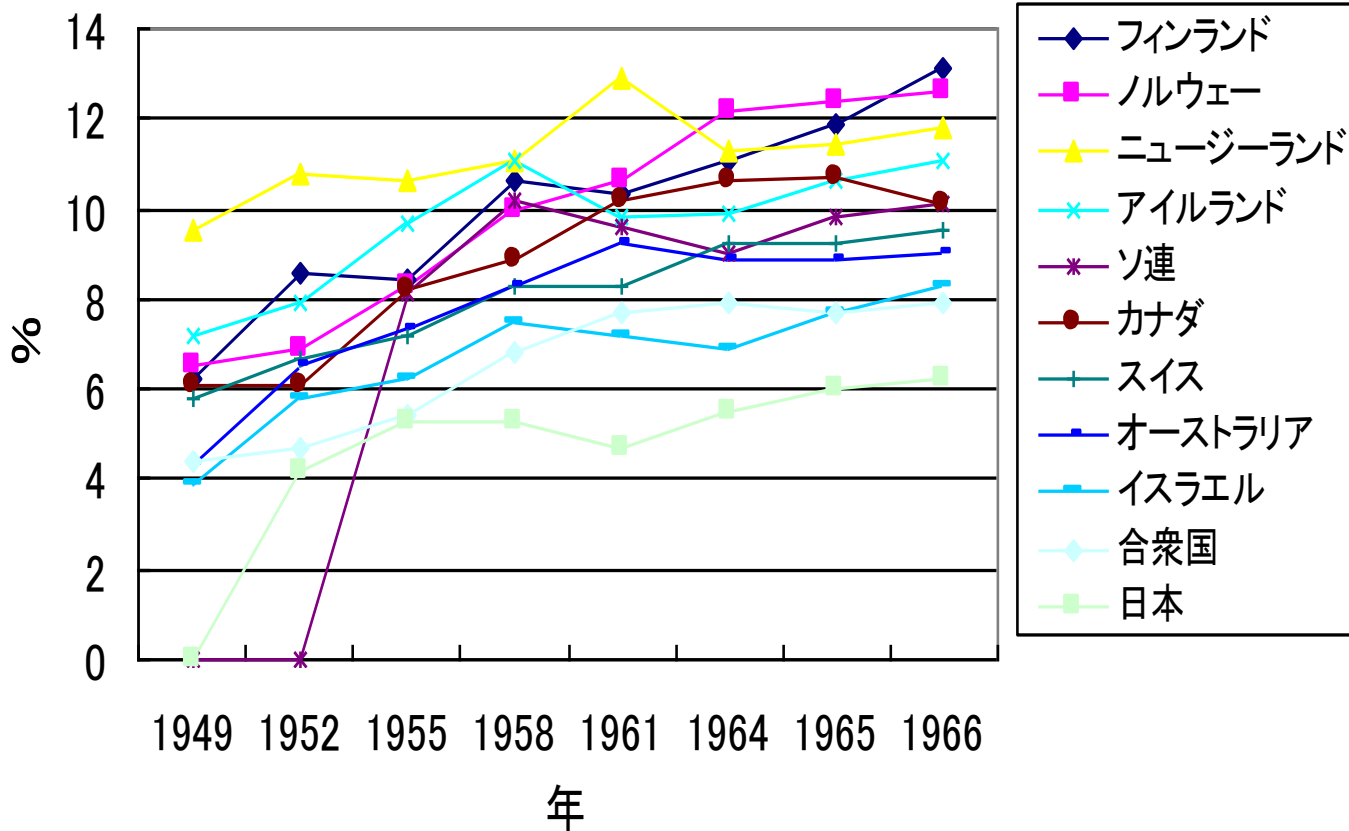
戦後における福祉国家の発展

社会保障費の推移(1)(GNP比)

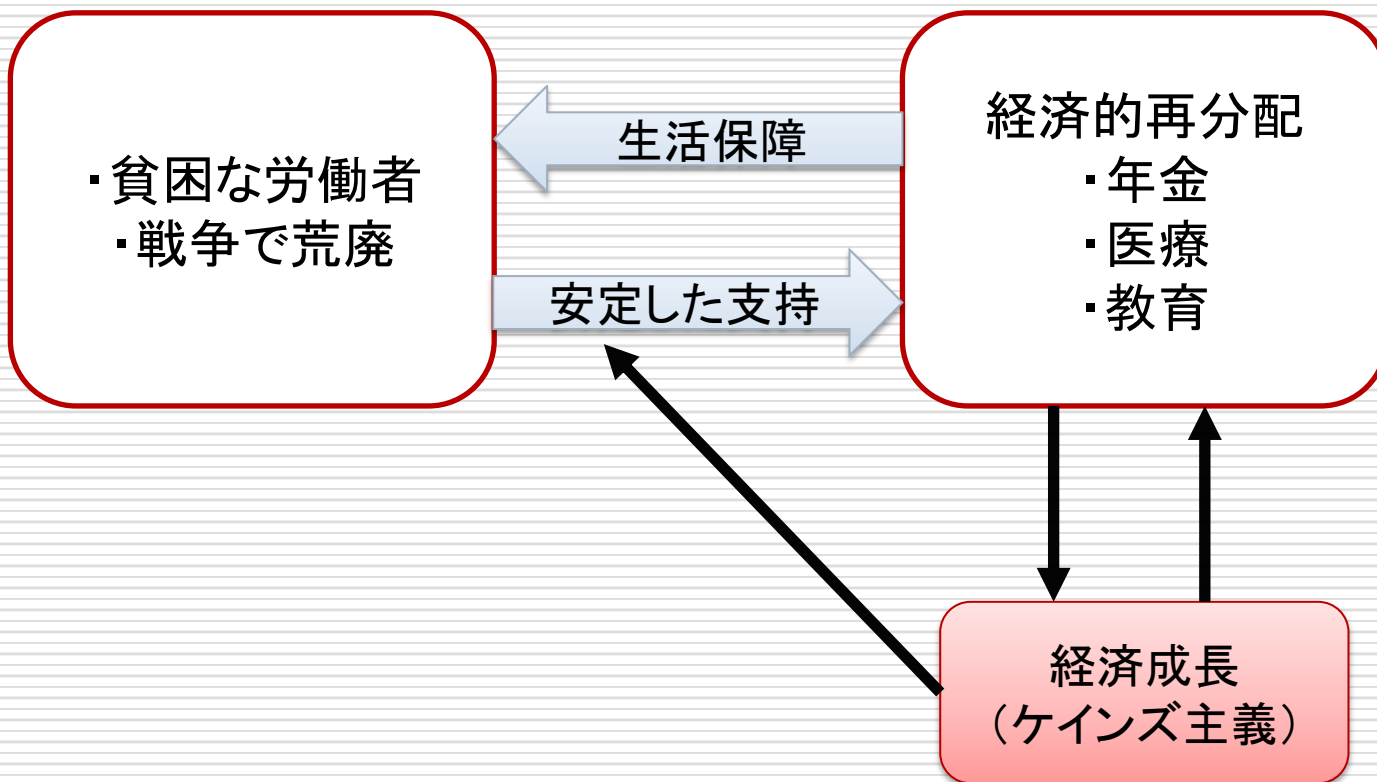


福祉国家への収斂

社会保障費の推移(2) (GNP比)



福祉国家による支持調達メカニズムの安定



戦後和解の構造

□ 福祉国家における経済中心性

→「ケインズ主義」的福祉国家

＝需要管理、再分配、財政支出

- ・経済的再分配
- ・経済成長

□ 福祉国家を支える階級和解

・労働者

→経済的再分配による生活保障、豊かさ

・経営者(資本家)

→経済成長の果実、革命の回避

国際的条件：埋め込まれた自由主義

□ 埋め込まれた自由主義

・第二次世界大戦後の国際的政治経済秩序

→国際的自由主義を、国内的社会経済的文脈に「埋め込む」

→国際的自由貿易体制と国内的保護との両立

□ ブレトン・ウッズ体制

→ドルを基軸通貨として、為替レート安定(固定相場)

ex. 1ドル = 360円

□ IMF-GATT体制

→資本移動の制限など自由貿易の衝撃を緩める

ドイツ、イギリス、スウェーデンの比較(戦前)

	ドイツ	イギリス	スウェーデン
特徴	社会保険	自由主義 選別主義	普遍主義
主導した勢力	国家主導	自由党	社会民主主義労働党
連合や分断	労使の協力	中間層と貧困層の 分断	労働と農業の連帯 資本と労働の歴史的 妥協
社会民主主義政党 の立場	社会民主党 ・内部に強力なマルクス主義勢力 ・弾圧も経験	労働党 ・産業の国有化の主張	社会民主労働党 ・国有化放棄、ケインズ主義の受け入れ

→これらが戦後福祉国家への経路依存性に

イギリス福祉国家の発展

□ 1942年 ベヴァリッジ報告

・「5つの巨人」への対策

①欠乏、②疾病、③無知、④不潔、⑤無為

・普遍性、十分性、包括性

・ナショナル・ミニマム

□ 1945～51年 アトリー労働党政権

・国民保険法：年金や失業給付

・住宅法：公営住宅

・国民扶助法：(日本でいう生活保護)

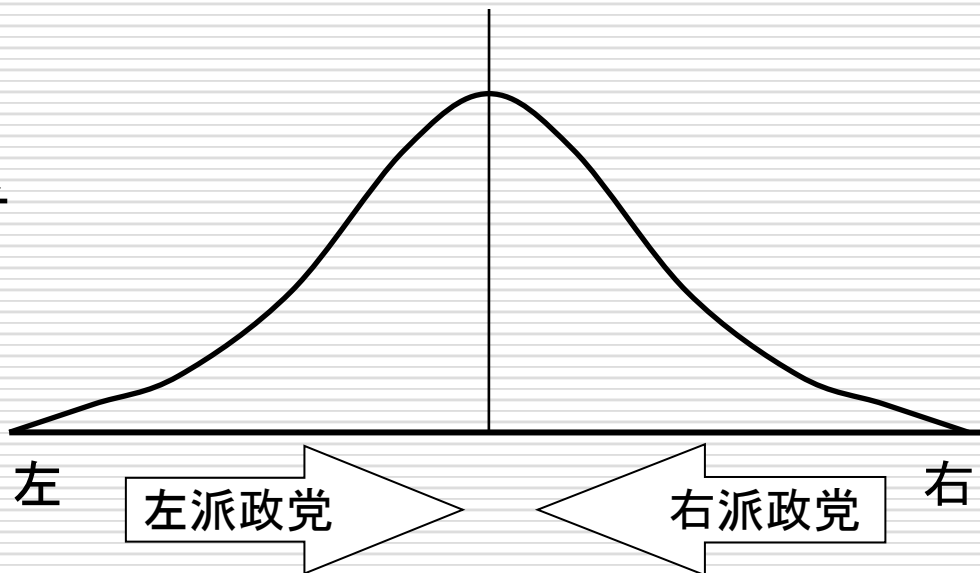
・国民保健サービス(NHS)：無料の医療

イギリスにおける合意政治

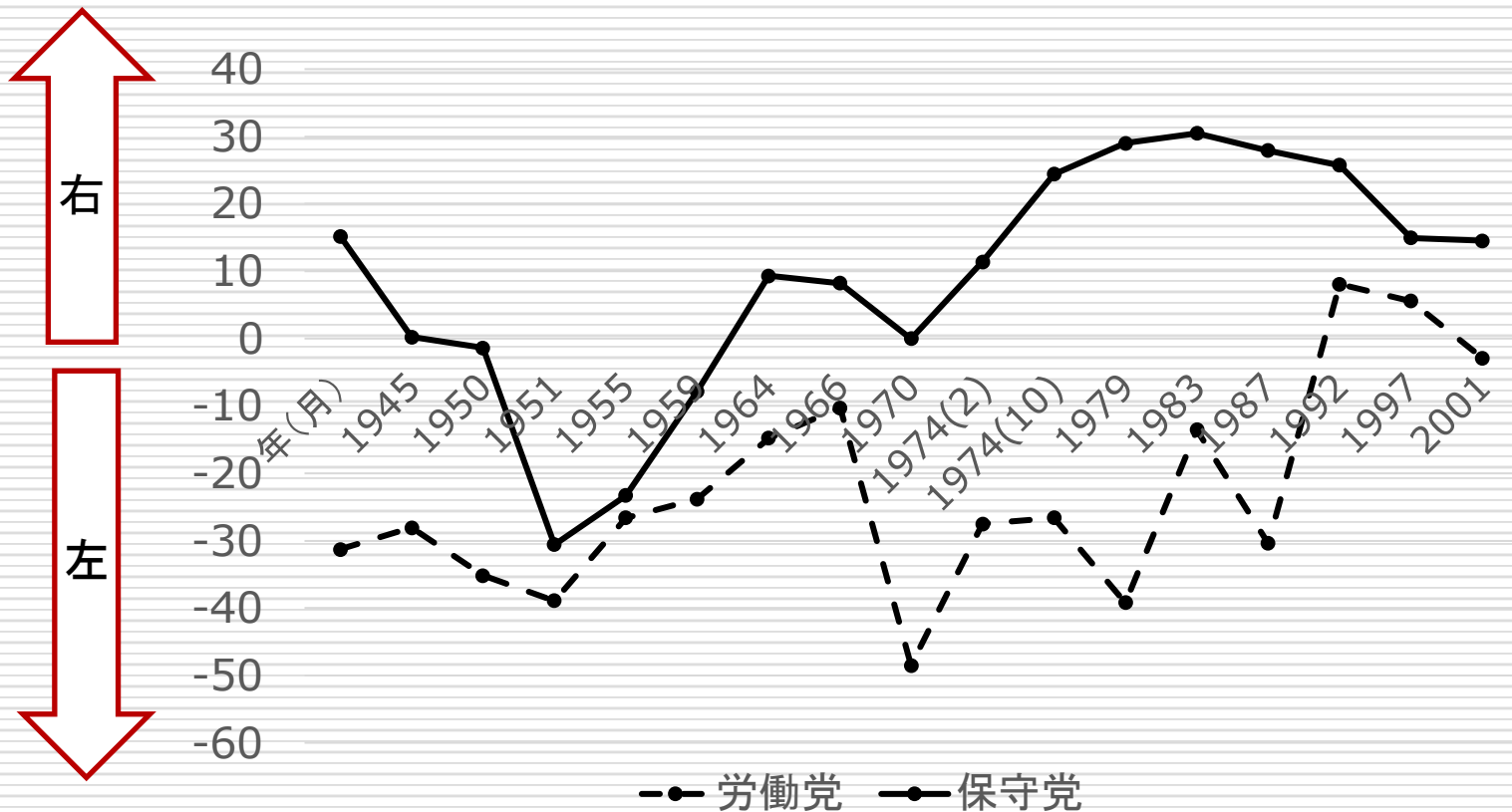
- 1951年に保守党政権に
 - ・保守党においても「福祉国家」の受け入れ
- 合意政治(コンセンサス政治)へ

A.ダウンス

中位投票者
の理論



マニフェスト分析



伸び悩むイギリス福祉国家

□ 1950年代の保守党政権

- ・福祉国家に合意はするが「嫌々」: 積極的には拡充しない
- ・国家年金の拡大より民間年金の導入

□ 1960年代の労働党政権

- ・「所得保障」などの提案→断念
- ・経済危機: 貿易収支の悪化、インフレ
- ・福祉国家を拡大できず

□ 他のヨーロッパ諸国では拡大期だった1950-60年代に拡大できず

→自由主義的、選別主義的性格の維持

スウェーデン福祉国家の発展

□ 社会民主労働党の単独政権(戦後～1976年)

- ・1946年:年金制度拡充(約3倍)
- ・健康保険(医療)も導入:全国民対象
- ・児童手当:16歳以下に定額給付

□ 普遍主義的福祉国家へ

- ・全被用者加入の公的付加年金
- 貧困層だけでなく、中間層にも分配
- 「普遍主義」の完成

□ 「高福祉」による「高負担」への支持

Quiz

選別主義(低負担低福祉)

普遍主義(高負担高福祉)

→福祉国家を縮小しやすいのはどちら？

答え:選別主義

普遍主義:すべての人々が受益者→支持高い

選別主義:一部の貧困層が受益者→支持低い

↓

縮小への拒否権プレイヤーが普遍主義の方が多い

※スウェーデンよりイギリスの方が新自由主義的改革進む(1980年代以降)

西ドイツの政権(1980年代まで)

	CDU/CSU	SPD	FDP	首相
1949	31.0	29.2	11.9	アデナウアー
1953	45.2	28.8	9.5	アデナウアー
1957	50.2	31.8	7.7	アデナウアー
1961	45.3	36.2	12.8	アデナウアー→エアハルト
1965	47.6	39.3	9.5	エアハルト
				キージンガー
1969	46.1	42.7	5.8	ブラント
1972	44.9	45.8	8.4	ブラント→シュミット
1976	48.6	42.6	7.9	シュミット
1980	44.5	42.9	10.6	シュミット
				コール
1983	48.8	38.2	7.0	コール
1987	44.3	37.0	9.1	コール

西ドイツ福祉国家の発展

□ 保守政権による福祉国家の建設

- ・アデナウアー首相(キリスト教民主同盟:CDU)
- ・1950年代に年金など福祉の大拡充

□ なぜ保守政権下で福祉国家拡大？

- ・高度経済成長
- ・CDU内に「社会委員会派」
- ・社会民主党への対抗と合意

ただし、戦前からの社会保険システムは維持

ドイツ、イギリス、スウェーデンの比較(戦後)

	ドイツ	イギリス	スウェーデン
特徴	社会保険 保守主義	自由主義 選別主義	普遍主義

■ このような違いはなぜ生じたのか？

- ・一つは、戦前からの経路依存性
 - ・もう一つは、福祉国家を主導した勢力の権力
- 第15回へ

参考文献

- エスピン・アンデルセン『福祉資本主義の3つの世界』（ミネルヴァ書房、2001年）
 - 田中拓道『福祉政治史』（勁草書房、2017年）
 - 近藤康史「ヨーロッパ福祉国家の現在とゆくえ」、近藤康史他編『社会保障と福祉国家のゆくえ』（ナカニシヤ出版、2011年）
 - イギリス福祉国家については
近藤康史『分解するイギリス』（ちくま新書、2017年）
-